

神戸のアーバンデザイン

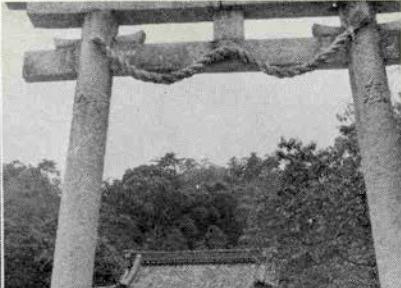
(山自動車が入ってこない落ちつ
すその町並み 平野た
静かな坂)

水谷頼介+チーム・UR

92



▶祥福寺の階段、東からの落着いた
静かな坂



▲五宮のお宮さんの立派な石段と鳥居

◀梅元町。階段にそった長屋の町並み。



▲祥福寺の門

▼祥福寺の門の前の大屋敷



▲祇園神社の階段



自動車の走らないいちびっこ遊戯道路。子供 ▶

たちが三輪車で走りまわっている。

山すそにつながるお屋敷が

▼並んでいる塀と門、上祇園町。



明治22年創業とかの時計屋さん。この通り
には、建具屋さん、ブリキ屋さんなどの職
人さんの古い町屋が並んでいる。 ⑨▼

神戸のモダーンリビング

92

《町屋的居住の評価》

水谷頼介+チーム・UR

〈併存住宅への意向〉



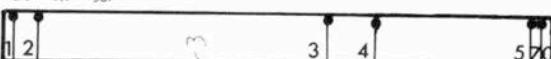
- 1 やはり純住宅地の専用住宅が望ましい
- 2 環境さえ良いれば併存住宅への意向は無記入
- 3 併存住宅の方が便利も良い
- 4 併存住宅でない限り他の何でもない
- 5 併存住宅でない限り他の何でもない
- 6 併存住宅でない限り他の何でもない
- 7 併存住宅でない限り他の何でもない
- 8 併存住宅でない限り他の何でもない
- 9 併存住宅でない限り他の何でもない
- 10 併存住宅でない限り他の何でもない
- 0 無記入

〈悪環境〉



- 1 家がせまい
- 2 交通過密に不便
- 3 空気がわるく、くさい
- 4 駐音・振動が多い
- 5 交通量が多く、あぶない
- 6 樹木・緑が足りない
- 7 他の遊び場がない
- 8 住んでる人の多いところと近所との格差がある
- 9 住んでる人の多いところと近所との格差がある
- 10 住んでる人の多いところと近所との格差がある
- 0 無記入

〈良環境〉



- 1 物価が安い
- 2 まわりの人といふてやさしい生活
- 3 仕事・商売に員合が良い
- 4 駐場が近く便利だ
- 5 交通の便が良い
- 6 内職・手仕事の機会が多い
- 7 どちらかどなたも(0%)
- 8 どちらかどなたも(0%)
- 9 どちらかどなたも(0%)
- 10 どちらかどなたも(0%)
- 0 無記入

〈環境比較〉



- 1 他のところより良い
- 2 他のところより悪い
- 3 同じようなもの
- 4 わからない
- 5 何ともいえない
- 0 無記入(0%)

〈移転希望〉



- 1 このままで住みたい
- 2 当分住みづけるのが移りたい
- 3 すぐにも移りたい
- 4 移りたいが移れない
- 5 何ともいえない
- 0 無記入(0%)

●ある最近の調査によると、元町通1、2丁目の場合、併存住宅で町の中にお店と一緒に住むことは、環境さえよければかまわないし便利だという人が結構いらっしゃるようです。良い点は、仕事、商売に都合がいいということと、交通の便です。悪い点は、樹木、緑が少ないとこと、子供の遊び場がないことです。

●こういったところが、他のところよりも悪いと答えた人よりも同じようなものだと感じている人のほうが多いようですが、このままでは住みつづけることにはやや疑問をもっていらっしゃる人が多いようです。このような屈折した結果をみると、緑、公園などを整備していけば、町のなかでの生活はむしろ特殊ではなく一般的なかたちとして存続しうるのだということになりそうです。

●自動車をもっている人も、交通の便利のためか半分です。住職分離、すなわちねぐら住宅地と日曜日や夜には人間気のない不気味な市街地、そしてそれをつなぐ交通過密という現代都市を、町屋的住宅市街地形で住職接近の都市に取り戻していくことが、まだまだ可能のようです。

FRPM管

(強化プラスチック複合管)

諸岡 博熊

(神戸市土木局参考)

単車に乗る人、工事現場で働く

人、ゲバ学生などの被るあのヘルメットは、FRP(強化プラスチック)製で、軽くて強いという特徴をもつ。これは熱硬化性の樹脂をガラス繊維で強化した複合材料。ボートの船体、家庭用浄化槽など各分野で使用されている。

この強化プラスチックをさらに剛性と弾性範囲を大きくして、管状に成形したもの——FRPにレジンコンクリート(プラスチックモルタル)を組み合わせたFRP管が徐々に普及し始めている。

米国では、すでに一九六五年頃から、市販され、複合パイプの軽量かつ高強度で耐食性に優れいる特性を活かして、上下水道、農業用水、石油輸送、薬液輸送用パイプとして、また、海底パイプとして、幅広い普及をみている。

× × × ×

① FRP層の間にレジンコンクリート(不飽和ポリエステル樹脂)と珪砂が主成分)を挿入して一体

構造に成形するサンドイッチタイプと、②レジンコンクリートをF

と、③粗度係数が少なく、内面がなめらか。粗度係数

FRPM管と各種市販パイプとの重さ比較
(但し $\phi 1,200\%$ 重量は参考まで)

市販の管の種類	厚さ%	重量kg/m	比率
P C 管	70	1,050	5.5
ヒューム管(B型)	95	1,095	5.8
石綿セメント管(3種)	65	538	2.8
セメントライニング、ダクタイル 鉄管(3種)	25	537	2.8
塗覆鋼管	11	331	1.7
FRPM管	24	190	1.0

(n値) ○・○・○八／○・○・九
流速係数(C値)一四〇／一六〇
で設計できる。したがって、パイ
プ口径を從来のものより小型にて
き経済的。(5)水中にてヒューム管
の約十二分の一の摩耗量のため、
摩耗損失が少なく、熱膨張係数が
小さく断熱性がよい。
つまりところ、物性面では、鋼
管、鉄管、コンクリート管、ブ
ラスチック管などの從来のパイプ
のもの欠点をほとんど補っている
といえる。

とくに、工事現場での使用に当
り、①軽いため小運搬容易、②接
合が簡単、③砂基礎程度で済む、
すなわち、切断が容易で短時間で
ジョイントできるといった施工性
に富むため、工事費が安くなると
いうメリットをもつ。

×

×

×

一般的に、各種パイプについて
表を参考。

②強靭な引っ張り強度
をもつガラス繊維(一平方ミリ當
り一五〇糸以上)を使用するた
め、大きな土圧、車両荷重などの
外圧に対し強い。③耐食性よく、
電食の心配がない。④摩擦損失が
少なくて内面がなめらか。粗度係数

不飽和ポリエステル樹脂などの高
分子材料は、石油価格の高騰によ
つて、原材料費がアップするた
め、普及価格の安定性が問題点。

豪華美術書 限定稀覲本

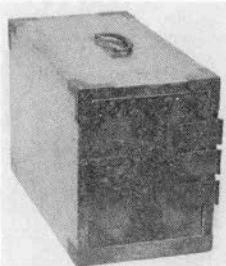
大展示即売会

併催 正筆会秀作書展

会期
12月7日(土)・8日(日)・9日(月)
午前10時～午後6時
会場
日生ビル12F大ホール
(国鉄神戸駅前)

主催
株式会社海文堂書店
後援
神戸市教育委員会

刀 剣 画 美 術 董 古 骨



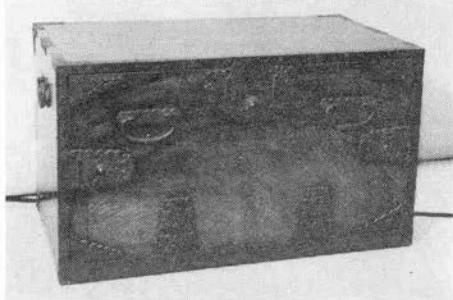
▼舟簾箱(江戸中期)

長さ 81cm

高さ 46cm

奥行 44cm

¥ 300,000



鑑定 買入
研白鞘 査御承処

神戸市生田区元町通6丁目25番地

刀古骨

美 剣 術 董

元町美術

〒650

TEL078-351-0081

▲ 錢箱(江戸中期) ¥ 70,000

装いは ひと自身。

Merry Christmas



O-SHIBATA

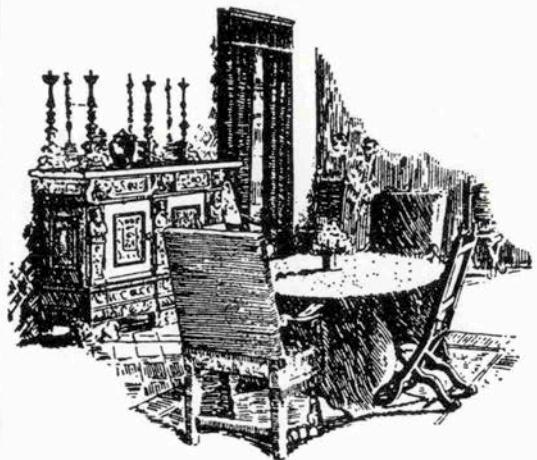
柴田音吉洋服店



神戸・元町4丁目南
大阪・高麗橋2丁目

神戸 341-0693
大阪 231-2106

欧風家具・婚礼家具



設計・制作

永田良介商店

神戸市生田区三宮町3丁目 大丸前 TEL神戸(391)3737
(代表)

東京店・東急百貨店 { 日本橋店内6階 TEL 03(211)0511
(本店(渋谷)7階 TEL 03(462)3180

工場 神戸市垂水区多聞町小東山975-35
神戸木工センター TEL (078)706-5913

神戸の創作音楽を



柴田 仁

（音楽評論家）

松本 幸三

（テノール歌手）

朝比奈 千足

（クラリネット奏者）

寺井 昭子

（神戸音楽友の会）

★会場は立派になったものの……

柴田 神戸文化ホールができたて神戸も会場の条件はすごくよくなりましたね。神戸では演奏会はやれないといふうに長い間いわれてきましたが……。

寺井 昔は満足な会場がなくて、戦前戦後は商工会議所や山手の教会、海員会館なんかで演奏会をやつたものね。

朝比奈 原田にあつた関学のチャペルだと山手女子学園でもありましたね。

寺井 山手学園でやる時は、下の教室から生徒さんの椅子を全部講堂に運び上げて、コンサートが終わつたら、またそれを教室にもどすんです。

学校側はすごく好意的でありがたかつたんですが、なにしろ学校の講堂だということで汚しちゃいけないとずいぶん神経を使いましたね。

それにその頃は前の道が舗装されていなくて、雨が降るとタクシーが上まで上がってくれないんです。嚴本真理さんがまだいつも袴でステージに立つていらした頃、雨の日に車から降ろされて、袴をきっとまくり上げて登

つてこられた。涙ぐましかったですね。

松本 今でも歩いて上るのは大変なところですよ。

柴田 新開地の聚楽館や松竹座、松竹劇場でもやつていましたね。

朝比奈 昔はオーケストラも規模が小さかつたのでやれただんですね。まだ国際会館もなかつた頃で、オーケストラがやれるというと聚楽館くらいでしたものね。

寺井 文化ホールができたて、今はオペラをやるにもオケピットが入る理想的なところがやつとできたんですね。会場が十分でなかつた頃にもずいぶんオペラ公演をやつたものだけど、やつとオケピットの入る会場ができるも今はお客様が来ない。うまくいかないもので……。

松本 今は会場が大きすぎて、かえつて使いにくいとうこともありますがね。

寺井 それに会場がよくなると今度は演奏会に行く人が増えないという、皮肉ですね。

★学校を出るとクラシックなんか聞かない？

柴田 今は他に娯楽がたくさんあるからかねえ。

昔ね、朝比奈さんのお父

さん（朝比奈隆さん、大フ

イル指揮者）

が、「向こうへ行くと劇場

と音楽会しか

ないねん、日本にはバチンコはあるしな」とおっしゃるんです。

僕はそんなに日本に娯楽が多いかなあ、とい

うことなんでしょうね。

寺井 夜だつて遅くまで遊べるところがたくさんあるけ

れど、ソビエトなんかだと、夜遊ぶところなんて全然あ

りませんものね。だから結局音楽会なんかへ行くってこ

となる。

朝比奈 学校時代の友人たちもみんな音楽が好きでね。

だから僕らの世代の音楽人口は決して少なくないはずな

のに、たまに会つて聞くと、学校を卒業してからナマの

音楽会に行つたことない、いうんですね。

寺井 定時までクタクタになつて働いて、それから音楽会に行こうという気にもならないだろうし、それに、演奏会活動の情報が一方通行で、市民に確實に届いていないんじゃないのかな。

柴田 新聞社も最近は音楽や演劇より、レジャーの方に力を入れていますしね。その方が読者が読むということでしょうね。

昔ね、朝比奈さんのお父さんは、文化ホールができて以来、音楽会の雰囲気がちょっと変わってきたといふことはないですか。どうも気取った人が多くなつたようだ。大阪の方が、もつと庶民の音楽になつていますよ。

柴田 神戸の人はスレてる、というか有名なものをよく知っていますね。

寺井 マスコミで一定の評価のあるものに対してのとつつきはいいんですけど、じゃあ、よかつたからもう一度聞こう、何回も回を重ねてじっくり聞きこんでいくつてことがないですね。

柴田 だから初めてやるものは、それもとくに有名なものは興味的に心配ないのですが、ところが、いくら有名なものでも二回三回となると危いですね。

松本 プロダクションも大阪だし、評論家の方々もほとんど音楽会は大阪へ聞きに行かれる、神戸でやつても地元の新聞も取上げてくれないことが多いと、演奏する者の立場からいうとやっぱり大阪でやろうということになる。そう考えている人が多いんじゃないかな。

松本 だから神戸の音楽家でも、地元でより大阪の方が名前が知られている、というような変なことになります。

柴田 神戸もそつたし、全国的にも関西は音楽活動は大



寺井昭子さん

松本 マスコミが、そういう方面に理解がないともいえるんじやな



柴田 仁さん

よ。

柴田 新聞社も最近は音楽や演劇より、レジャーの方に力を入れていますしね。その方が読者が読むということですね。

昔ね、朝比奈さんのお父さんは、文化ホールができて以来、音楽会の雰囲気がちょっと変わってきたといふことはないですか。どうも気取った人が多くなつたようだ。大阪の方が、もつと庶民の音楽になつていますよ。

柴田 神戸の人はスレてる、というか有名なものをよく知っていますね。

寺井 マスコミで一定の評価のあるものに対してのとつつきはいいんですけど、じゃあ、よかつたからもう一度聞こう、何回も回を重ねてじっくり聞きこんでいくつてことがないですね。

柴田 だから初めてやるものは、それもとくに有名なものは興味的に心配ないのですが、ところが、いくら有名なものがでも二回三回となると危いですね。

松本 プロダクションも大阪だし、評論家の方々もほとんどの音楽会は大阪へ聞きに行かれる、神戸でやつても地元の新聞も取上げてくれないことが多いと、演奏する者の立場からいうとやっぱり大阪でやろうということになる。そう考えている人が多いんじゃないかな。

松本 だから神戸の音楽家でも、地元でより大阪の方が名前が知られている、というような変なことになります。

柴田 神戸もそつたし、全国的にも関西は音楽活動は大



松本幸三さん



朝比奈千足さん

メだ、という
先入感がある
ようですね。

今年の新人は
：というよう

な話し合いの
場でも「いや

関西にはいな
いなあ」とひとことで片づけられてしまう、いい活躍を

している人もいるんですがね。

松本 神戸でたにしの会というのがあるんです。これは

地方では珍しい作曲グループで、日本的な音を作品の中
に生かそうという人たちの集まりです。そして作曲した
ものを毎年発表しているんですが地道ない活動です。

こういう団体があるってことが全然知られていないんで

すからね。

自分たちでアピールに行くってことも必要なんでしょう
が、売り込みに行くのは大変難しいことでね。演奏会
前には演奏のことで頭がいっぱいだし、切符は売らない
やいけないし……。

柴田 昔はプロダクションの方で新聞社回りをやってく
れていたでしょ。だから演奏家と批評家の間の交流も
あったしね。

★「第九」を聞いて、やっと年越し
朝比奈 今、クラシックの景気がいいのは暮れの「第九」
だけですね。

柴田 それも
おもしろい現
象ですね。戰

前はママで聞
く機会なんか
なかつたです
し戦後すぐ

関連がやつてたけれど年末には限つていなかつたもの。
寺井 私が初めて「第九」を聞いたのは真夏でしたよ。

いつの頃からか暮れにかたよってきたんですね。

今は「第九」は暮れにやると客が入るけれど、六月や
八月にやるとさっぱり入らないそうですよ。

朝比奈 「第九」には一般の人たちの関わる部分がある
からでしょうね。コーラスと一緒にやろうという企画が

ものすごく功を奏した。今年の暮れに「第九」を歌う人の
のべ数なんてかなりですよ。

寺井 今年は京響がやらないけれど、神戸でも二つ「第
九」をやりますね。

朝比奈 技術的には厳密にいうと素人の歌える歌ではな
いんですが、歌う場所が少ないし練習に手頃なんですね。

これがメサイヤだとそうはいかない。

松本 この頃は「第九」をやらないことには年を越せな
いというやうな……。

朝比奈 夏向きの人気番組も作らないといけないです。
昔は王子動物園の野外ステージなどで「たそがれコンサ
ート」をよくやっていましたがね。

朝比奈 六甲山の上でやるとか、淡路島でやるとか、僕
も考えたんですよ。マネージャーと検討してみて、やつ
ぱりやめといた方が、という結論になりましたね。

企画自体すごいお金がかかるし、それに人材もいるよ
うでいないんですね。あらゆるジャンルにわたる人が必
要なので、どうしてもアンバランスになりますね。

寺井 でもあまり出演者を揃えなければやれるんじやな
いかしら。最初の一、二年はしんどいでしようけれど、
定着してしまえばね。

意義を感じてくれるスポンサーがあればね……。
朝比奈 軽井沢でやっているのは今年でもう三度目だけ
れど、よく続いていると感心しています。出演者にすい
分シワ寄せがきているはずで、非常な努力ですよ。

★地元にも活躍している音楽家が

松本 今いちばん活躍しているのは母親コーラスじゃな
いですか。

柴田 団地単位の母親コーラスは全国的に盛んらしいで
すね。

松本 文化ホールで母親コーラス交歓会というのをやつ
たら、出場団体が60以上といいますから。もともと神戸
はコーラスの強いところでしたけれど。

アマチュアのオーケストラでは神戸コンサートオーケ
ストラがありますね。やつていらっしゃるのは明石の潮
崎満さん。この間アマチュアや学校のオーケストラを集
めて兵庫県オーケストラ合同演奏会がありました。

柴田 ほう、珍しいですね。

作曲の部門で活躍しているのは中西覚さん。
松本 たにしの会の中西覚さん。小山清茂さんのお弟子
さんです。たにしの会は小山先生が山手短大に東京から
たにしの会の発表会風景



求したり、日本のものです。舞台をまっ暗にしてクラ
リネットとフルートを舞台の上下に分かれて向かい合う
んです、客席の方に向かないで。それでヤツ、オーッと
やるんですね。

新しい音楽は日本的なもの、というのが最近の傾向の
ようですね。

松本 武満徹さん以来ですかね。

朝比奈 一般に邦楽の世界の人も現代音楽に近づいたり
今はどちらからも歩みよっているようですね。

松本 琴と一緒にやる宮城道雄作曲の「日蓮」は僕も
よく演奏しましたが、今度、「信楽狸」ってのをやるんで
す。邦楽のオーケストラをバックに一人歌うもので、今ま
ではよく長唄関係の人がやつてたんですが、それを洋楽
調に歌つてくれといふんです。楽譜も五線譜に直して。

柴田 歌の方ではここにいらっしゃる松本幸三さんや小
村亮三さん、それに田原祥一郎さん、こういった方たち
が活躍していらっしゃいますね。

松本 二期のソプラノで沢田せつさんもいいですね。

朝比奈 僕らのメンバーの中にも優秀な人がいるんですけど
が、一人の名をあげるには一般性がないわけです。フル
ートの持田洋さんなんかも芦屋だけれど。

松本 ピアノは田原富子さんかな。

神戸大学の先生をしていらっしゃる遠藤秀一郎さんは大
阪だけど。

柴田 大阪テレマン・アンサンブルも大阪での活躍が多
いですが神戸の人たちですね。

★クラシック音楽が聞ける店

柴田 最近はクラシック音楽を聞くことができる洋楽喫茶も、昔
のことを思うと少なくなったようですね。

松本 神戸ではローレライはセミ・クラシックですね。
アコデオンのうまい人がいて。

アコデオンのうまい人がいて。
珈琲の茜屋はバッハなどのバロック音楽が聞けますね。

朝比奈 ランブルも古い名曲喫茶ですし、これは東京や
京都にもありますね。

朝比奈 大前哲さんも
現代音楽ですが、フル
ート、クラリネットな
ど管楽器に強くて、い
い感覚を持つてゐました
んですね。

柴田 ほんと、能のヨオー
ツとかハアッとかの声
を挿入したりクラリネ
ットに尺八の感覚を要

松本 僕は今、創作オペラグループを作つてみたいと考えているんです。神戸近辺に住んでいる人を中心にして。奈さんあたりにぜひ作つていただきたいんですよ。神戸

寺井 モーツアルトって店もあるけど。

松本 この頃はみんな耳が肥えてるからね。むしろ全然音楽のかからないストランの方が新鮮だつたりして(笑)

でも音乐会もね、なにもえんび服着て大きな会場でやらなきやいけないってことはないんですよ。むしろ百人くらいのサロン的なところでワインでも飲みながら聴いてもらえるところがあれば、その方がいいわけですよ。

朝比奈 歌の場合は可能でしょうね。言葉がついてて、

楽器を持たないから手でお酒のグラスを持ちながらでもやれますからね。音だけの勝負より直接的ですね。

松本 人間の声つてのは楽器より強いのでしうね。

★地元のアーチストを集めて創作オペラを。

朝比奈 新しく組織を作るんじゃなくて、違う組織に所属している人たちを集めて、プロモーターを中心に一回の公演のためだけのものがいいんじゃないですか。

松本 神戸の画家の中にも、舞台装置をもつと現代的な感覚のものでやりたい、とかいう人がいるんですよ。そんな人たちも一緒にやって総合芸術としての創作オペラがれますよね。

県や市の芸術祭にもそういう地元の人たちによる公演をもつとプログラムに組み入れてほしいですね。

柴田 大阪は今芸術会館を作るという話がありますね。それと神戸市立の芸術研究所みたいなところがぜひ欲しい。音楽だけでなく演劇・造形など芸術家の集まる場所がないとね。

市や県も地元の音楽家を大事にしてほしいですね。



学生や職業人のメンバーから成り地道な活動を続けている神戸コンサートオーケストラ(左)、静かにクラシックを聴かせて

くれ珈琲もおいしいモーツアルト(中)、楽しいバンド演奏が多い雰囲気のドイツ風音樂レストラン、ローライ(下)。

こんにちは赤ちゃん



亀山淳一くん／東京都

完全看護★冷暖房完備★病院前駐車可能

芦柿沼産婦人科



芦屋市大木町 番18号
国道芦屋川電停東50米(明治生命南)
☎ 芦屋 (0797) 31-1234 代表

幼児歯科 小児歯科

SAMOTO PEDIATRIC DENTISTRY

佐本小児歯科

母親教室

(初診日)

火曜日 午前10時

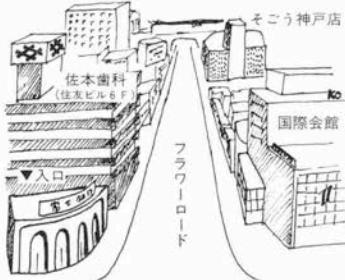
金曜日 午後2時

(木曜日は休診)

そごう前センター街東角・さんちか入口
住友銀行三宮ビル6階

〒650 生田区加納町5丁目39

TEL (078)331-6302~3



アマチュア音楽の街



末広 光夫 〈ラジオ関西プロデューサー〉

野崎 謙治 〈ローストシティー〉

武内 正文 〈ラジオ関西プロデューサー〉

玉利 茂樹 〈ティファーナ〉

★日本のジャズの発祥地神戸

ジャズの発祥地、いうならばアメリカのニューオリンズ
ということになる。

末広 ジャズのほうからみれば神戸というところをやっぱり徹底的に売り込みたいですね。なにも神戸のジャズが素晴らしいというのではなくて、何故神戸がジャズといふことを入一倍声を大にしていわなくてはいけないかと
いうことをこの際やっぱり神戸っ子の皆さんに知つて頂きたいということです。ジャズということばを活字にして、つまり看板にして日本で一番最初に起つたのが神戸であるということを知つてもらいたい。

玉利 それはいつごろなんですか。

末広 大正末期。でね、井田一郎さんていう人がいたんですね。この人が大正末期にラブリング・スター・ジャズ

バンド（笑う星）というのを編成したのが最初。それまで日本のどこを探してもジャズはない。ジャズつてことはなかつた。アメリカでジャズということばが使われたのとほんとかわらない。彼らがチエリーランド・ジャズバンドという名で昭和三年に東京三越デパートで二週間演奏した。これが東京で最初。だから神戸は日本の

武内 ブラスバンドかな？

末広 そう。だから、ちょっとジャズっぽいダンスバンド的なことをやつたのは兵庫県になる。尼崎でダンスホールが盛んだった。何故かわかる？

野崎 遊郭があつたから？

武内 考えすぎや。（笑）

末広 大阪は至上命令でダンスホールが禁止されていたんですね。それで大阪に一番近いところっていうと、杭瀬になる。南里さんなんかみんな尼崎でバンドをもつてダンスをやつていた。尼崎・西宮・神戸、この三つが拠点なんです。こんなものもあって神戸というところはジャズに限らず昔からポピュラー音楽の盛んなところです。

玉利 カントリーは戦後ですか。

野崎 戦後ですね。僕らが一番良く聞いたのは、ラジオのロイ・ジェームス司会の「トリス・ジャズ・ゲーム」でした。

末広 戦後のアメリカのヒットパレードに出ていたのはほとんどカントリーですね。アメリカ人というとカントリーだな。

野崎 日本の歌謡曲みたいなもので嫌でも耳に入ってるというのがカントリーですね。

武内 進駐軍がやって来たことが大きいですね。それで飛躍的な進歩があつたんだと思います。

野崎 米軍のキャンプのショートいうのはおもしろいのですよ。食事しながら飲んでるんですけど、踊りのバンドが入ってきて、踊っておいて、その間にショートとしてウエスタンのバンドをほり込んでいる。それだけなんです。オーケストラというのがひかえて、その間のおつまみですね。

末広 カントリーってのは神戸にいた外人の影響ということはまちがいないですね。カントリーはやはり戦後のものでしょかね。

野崎 戦前に日本人の録音したものでアメリカの民謡のたぐいのものですが、ギター一本で唄っているのがあります。でも演っているのは神戸の連中ではないですね。

末広 現在、野崎さんたちは、アメリカのフォークソング、キングストントリオ・ブレイブ・フォーワーのブームの後でしょ?

野崎 そうです。うちの連中のは時代からいくと非常に新しいものです。

末広 玉利さんとはどうなの?

玉利 ラテンというのは神戸でどのていどのものなのかなつごろからうなのかということはよくわからなければ、トリオ・ロス・アミーゴスというバンドがありますね。神戸出身のトリオ。彼らだけですね。神戸出身のバンドは。

末広 僕はティファーナができる前にね「ブルー・リボ



末広光夫さん

神戸でジャズが起ったのです

ン」へよく行っていたけど、あそこのマスターはフランコでしょ。あそこへ行く客のなかにはけつこう好きな人がいてね「ククルクルバロマ」なんて唄っていたような気がするね。

玉利 「ブルー・リボン」の歴史は古いですね。しかしさテンは京都が盛んですね、中南米音楽同好会なんかあります。作りましてね。

野崎 思いだすわ、何とかいう喫茶店があつたね。

玉利 「ムーチョ」ですね。大阪は六年くらい前に中南米音楽同好会ができた。しかし神戸にはまだ無いんです。作りたいとは思つてゐるのですが。

末広 マリアッチのロス・ドラドスって知つてる? 神戸に一番初めに来たマリアッチですね。だけどマリアッチといつても誰も知らないので、とにかく宣伝しなくてはならなかつた。宣伝するとなると音を聞かせなくてはならない。彼らはだいたい屋外でやるんだから、歩かせようということになつてね、センター街を歩いたよ。十二、三年前かな。歩いてみると、警官が困るつて怒つてね、いいセッションですよ



武内正文さん

だから「こいつら歩けっていつたらすぐ演りよるんや」つていいってやつた。(笑) 歩けっていつただけで演奏しろなんていってない。(笑) 日本で初めてだらうな、マリアッチを歩かせたのは。(笑)

武内 热狂的な気狂いというファンは、カントリーヤギセズよりもラテンのファンのほうが気狂いですね。ラテンとタンゴのファンは気狂いですね。

玉利 確かに中途はんぱな人はないですね。僕としてはプレイをする人をつくりたいですね。聞くのもいいんですけど、一緒にプレイして楽しんでもらいたいですね。

★神戸の街と音楽

末広 となると学校でいうと閑学だろうな。閑学の影響力というのがかなり強い。だって、ジャズのほうでいう閑学だもんね。

武内 右近雅夫のオリジナル・デキシーランド・ハートウォーマーズ。

末広 閑学、甲南の連中がバイトでやつたりして……伊藤のターヤンがそうだろ。お酒の配達の車にいつもラップを積んでいる。伊藤隆文、明石の酒屋さんです。右近雅夫の後輩にあたる。右近が関西の戦後のバイオニアになる。当時NHKの全国放送にハートウォーマーズのレコードが流れるというのが良かつて、いわゆるアングラレコードの最初でしょ、そんなハートウォーマーズの存在があつたので、アマチュアはみんなハートウォーマーズをめざしてということで関西にたくさんでき、結成十周年というバンドが今でもやつている。東京の連中からみると、どうして関西だけが、大学を卒業して社会人になつてもやつっているんだろうということなんですね。

武内 神戸は東京とちがつて、東京というののは人の寄せ集めであつて、神戸は学校へ行くにも家から通つていてます金の心配はしなくていい。東京だと四年間学校へ行つてそのあと地方へ分散していく。だから四年間一生

神戸の音楽は保守的ですね

懸命やつたことも卒業したらそれまでになつてしまふ。ところが神戸にいる人は、家から通つてるとということでお精神的に余裕がありますね。

末広 神戸でハードなロックが流行らないのは、それが大きな原因だらうと思う。ひとりで下宿住いでもしてて

ごらん、わびしいから、なんかこうすごい刺激のある音を要求するでしょ。ところが家から通つて、いわゆる暖い家庭から通つているとそんな気が起こらないですよ。だいいち家庭がうるさいでしょ。やっぱりある程度抑制される。それと精神的にね、そんな激しいものを聞かなくたつていいんですね。

野崎 その反面、神戸の音楽は地域的に神戸といふのかたまりすぎているように思うんです。たとえば、私のところのウエスタンの分野にしてもなかなか外を見ないんですよ。

いろんな音楽を勉強するということ、外へ出ていて交流して自分の輪を広げてやろうということがあまりないですね。そういう意味で神戸の音楽は非常に保守的ですね。

中南米音楽同好会を作りたいですね



玉利茂樹さん

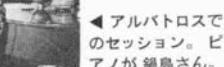


野崎謙治さん

★お店で聞ける神戸の音楽



▲日本のジャズの最初の人
故井田一郎さん



◀アルバトロスでのセッション。ピアノが鍋島さん。



▲ハートウォーマーズのメンバーとかつての演奏を
収めた名盤



◀オヤジさんこと南里文雄
▲エルヴィンの向田さん



▲ソネの店内、ピアノを弾くのが川瀬健さん



▲ソネの店内、ピアノを弾くのが川瀬健さん

末広 完全な専門店というのではないね。

末広 神戸にいるとあらゆるジャンルの音楽が聞けるでしょうね。カントリー、ラテン。スペインはブルー・リボン、エルヴィン。シャンソンのサントノーレ。

玉利 デキシーの専門店は?

玉利 完全な専門店というのではないね。

末広 中川宗和さんのデキシーランドがあるけれど、彼の場合の神戸における功績というのは評価するべきですね。いわゆるお客さんと一体になってワーッと楽しむという分野での神戸でのバイオニアですね。

武内 最近私はローライのバンドを買うね。あのバイオリン奏者はすごいエンターテイナーだよ。彼は本当にお客さんを大事にするよ。場所がね、もうちょっと中山手の方にあるとね。野崎さんとともに上に行つたら?

玉利 あそこはいいじゃないですか。

野崎 やや、やっぱり感じる時がありますよ。全般的にあの通りは低調でね。あの辺でジャズの店でもなんでもあると、音楽を求めるお客さんの流れというものができるんですね。そうなれば歩いているだけで活気が出ますからね。

末広 アメリカだって、一ヵ所かたまつてるもの。みんな車で来てるから、一ヵ所に車をつけてあとはそのへんを何軒かまわるというふうにね。ラテンを聞いて、カントリーを聞いて、ジャズを聞いて……。

野崎 悪酔いするんじゃない? (笑) そんな意味では、あの通りはいいですね、ソネ付近の。ひとつ前の夜の神戸の中心になるんじゃないですか。僕のところは外国の船員さんたちのもつムードがあの付近と合ってるのね。

武内 ソネの前のアルバトロスはね、鍋島直親さんね。毎月第四日曜の夜の九時頃からセッションがあつてね、その時は鍋島さんはピアノから本職のヴァイオに代えてやつてます。なかなかいいセッションですよ。

★神戸の街の演奏家たち



▲神戸の名物、オノヤンのチャールストンは、全国でも有名。



▲右側テナーの徳大寺公忠さん



▲ニューオリンズ名誉市民でもあるラスカルズ



中央のトランペットが伊藤隆文さん、そしてボサリオのメンバー、現在明石で活躍中。



▲お客様と飲んで歌ってスイングして、デキシーランドの中川宗和さん

▲サントノーレでのシャンソン教室、ピアノを弾くのが堀部子さん。

末広 玉利さんとこの後輩バンドはないのです。

玉利 それがないんです。

末広 あなたがたの次はどうなるの？

玉利 京都外大の学生さんがいますけど……

末広 ティファーナはバンドを育てるということをやつて欲しいですね。

玉利 それは感じますね。

末広 それとね。これだけフォルクローレが盛んなのにだれもいないでしょ。あなたがたはメキシコをやつて下さい。私たちはフォルクローレをやりますっていうバンドが出てこなければおかしいですよ。フォルクローレのチーム欲しいな。あとと神戸で出て欲しいとか、有望なブレイヤーはないのですか？

武内 ジャズの方からいくとね、今、人形の家でやつてゐる徳大寺公忠さん。東京のほうでも関西のレスター・ヤングと有名です。それと、小林泰さん。ウエス・モンゴメリーの音かな。

末広 それから、関学のクリスコナーといソノ・ルヲ氏が名づけた原田紀子さん。クラリネットの北村英治がこの間共演してね、アマチュアでしかもその番組のプロデューサーが唄うつていうのだからと思ってたのが、ところがそれはうまい。北村英治が曲が終ったとたん文字通り土下座して、「おそれいました」って。ほかにはねソネのピアノ、川瀬健さん。ウォッシュボードの小野克己さん、というより小野ヤン。彼の踊りは神戸の名物です。ジャズ以外のところで、福原照暁さんのカントリー。大変にうまいですね。レバートリーもそう多くはないが一曲、二曲と唄わせればプロ顔負けの味をもつていますね。あとにもまだいいブレイヤーが神戸にいますが、みんな楽しいですね。神戸の音楽はやはりアマチュアの音楽であつて、本当に楽しい音創りに懸命ですからね。